



北九州市民憲章

わたしたちのまち北九州市は、美しい自然に恵まれ、ながい歴史とたくましい産業をうけついできました。

わたしたち北九州市民は、このまちを愛し、よりいっそうの市民参加によるまちづくりをめざしています。

このふるさとに、実りある未来を築くため、わたしたちは、みんなで守る約束を定めます。

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします
きまりを守り 安全なまちにします
人を大切に し ふれあいの輪をひろげます
元気で働き 明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

市民憲章とは、「市民が郷土を愛し、みんなのまちを住みよい幸せなまちにするため、市民がお互いに守る市民生活のルールである。」ということが出来ます。

市民憲章は、できるだけ多くの市民の願いや希望を結集し、市民みずからの手でつくりあげられたものでなければ、真に、市民生活のなかにひろまり、生かされていくことはむずかしいと思われれます。

このような主旨から、市民憲章は、市民団体の代表者などが中心となり、2年余の歳月をかけ、幅広く市民の意向をたしかめながら、昭和56年2月に制定されました。

現在、市民憲章を市民に身近なものにするため、各区に区市民憲章推進協議会が設置され、様々な周知を図る活動が行われています。

発行・編集

北九州市総務企画局総務部総務課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
TEL 093-582-2102
HP <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

北九州市印刷物登録番号 第15070318号

市民主体のまちづくりを進めるため 市民参画しませんか？



北九州市

市民が主役の自治(まちづくり)のために

少子・高齢化が急激に進み、個人の生活スタイルや意識がますます多様化する中、防犯・防災、子育て支援や高齢者の見守り等の様々な課題について、行政サービスへの市民ニーズが高まっています。

このような課題の解決に向けては、行政だけでなく、市民も積極的に“まちづくり”に関わっていくことが大切です。

そのため、北九州市では平成22年10月に、「北九州市自治基本条例」を定めました。

この条例では、市民が市と同じ情報を共有し、北九州市に関わる誰もが北九州市のことを考え、その意見や提案をまちづくりに生かし、また、市民や自治会などのコミュニティが自らまちづくりを実践するという、市民が主役の自治の実現を目指しています。



市民が主役の自治(まちづくり)の3つのポイント

市民が主役の自治(まちづくり)を実現するために、自治基本条例では、特に大切なことを次のように定めています。

1 まず情報を共有しましょうー情報共有ー

自治(まちづくり)に参加するためには、市が抱える課題や予算、市が行っている事業など、市政に関する情報が必要です。この情報が無いと、北九州市をより良い“まち”にするためにはどうしたらいいのか考えることができません。

よって、自治基本条例では、市民と市が同じ情報を共有するため、市が積極的に情報を公開することを定めています。まずは情報を共有することから始めてみませんか。

★例えば、このような方法があります

●市政だよりやパンフレットを読む

北九州市では「市政だより」をはじめ、市の情報をお伝える冊子やパンフレットを発行し、市役所や区役所、市民センターなどでお配りしています。

●市のホームページや市政テレビ・ラジオの広報番組をチェックする

北九州市のホームページでは市の最新の情報や歴史などを情報提供しています。また、市のニュースや地域の魅力を、市政テレビ・ラジオ番組やYouTube動画でお伝えしています。

●出前講演で直接話を聞く

市職員が地域の皆さんからの要望に応じて直接地域に出向き、市の仕事やまちづくりについて説明する「出前講演」を行っています。



情報共有の取り組みについてのお問い合わせは、P9の「問い合わせ一覧」をご覧ください。

2 身近なコミュニティの活動に参加しましょうー市民主体のまちづくりー

地域では、様々な団体が地域の課題解決のために活動しています。自治会・町内会は日常生活課題の解決に取り組んでいます。自分の住んでいる地域で活動に参加したい人は、まずは、自治会・町内会に加入することをお勧めします。

自治会・町内会のほかにも、NPOやボランティア団体も地域の課題解決に向けて、様々な活動に取り組んでいます。

そして、このような取り組みを支援するため、北九州市では小学校区を地域活動の基本単位と位置づけ、市民センターの整備や自治会などの地域団体が参加するまちづくり協議会の設置を促進しています。

★例えば、このような方法があります

●“まち”をきれいにする

快適で美しいまちづくりのため、地域で公園や河川の清掃活動やゴミステーションの管理、古紙回収等に取り組んでいます。

また、企業による駅周辺での美化活動等、様々な活動が行われています。



●高齢者の暮らしをサポートする

自治会・町内会が参加する社会福祉協議会ではふれあいネットワーク活動で高齢者等の見守りを行っています。シルバーひまわりサービスといった、ボランティアによる病院への送迎等、日常生活の支援を行っています。



●地域の安全を支える

子どもからお年寄りまで、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、地域では、防災訓練や防犯灯の設置・維持管理、さらに生活安全パトロール隊による通学路の見守り活動などに取り組んでいます。



こうした市民のみさんの活動を「市民センター」が応援します!

市民センターとは?

市民センターは、地域における住民の交流及び自主的な活動の拠点施設として、地域の会議、健康講座、子育てサークル、クラブ活動など様々な目的でご利用できます。

このほか、「ひまわり文庫」での図書貸し出しなども行っていますので、どなたでもお気軽にご利用ください。



コミュニティ活動への参加についてのお問い合わせは、P9・10の「問い合わせ一覧」をご覧ください。

3 自分の意見を市政に届けましょうー市民参画ー

市民の皆さんが納得できる“まちづくり”を進めていくためには、一人ひとりが市政に積極的に関わっていくことが大切です。

市は、市民の皆さんの意見を市政に反映させるため“市民参画”のための制度を整備しています。

★例えば、このような方法があります

●タウンミーティングや公開討論会(フォーラム)に参加する



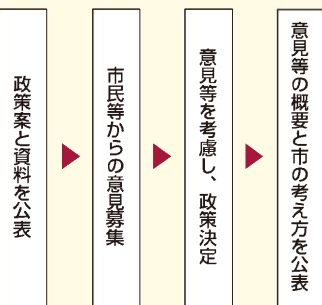
大勢の方が参加し、市の取り組みについて話し合い等を行います。

●パブリックコメントで意見を提出する



市が基本的な計画等を立案する際、あらかじめ案を市民に公表し、その案に対して提出された意見を考慮して計画等の決定を行います。

パブリックコメントの仕組み



市民の意見等を政策決定過程に反映させるとともに、行政運営における公正性の確保や透明性の向上を図ります。

この取り組みによって、市政に関し市民に説明する責任を果たし、公正で民主的な市政の推進に資することを目的とします。

市民参画の取り組みについてのお問い合わせは、P10の「問い合わせ一覧」をご覧ください。

●公募委員になる

市政に関する課題等について検討する審議会等において、一般公募委員として、有識者等と一緒に話し合いをします。



会議に参加して、まちづくりに関わることができただけでなく、様々な知識や人脈を得ることもでき、自分の世界が広がりました。



公募委員
松下 葵さん
(北九州市立大学地域創生学群)

●アンケートに答える

広く市民の意見を反映した明るい活力あるまちづくりを目指して、市政モニターを公募しています。

また、市政に関する特定のテーマについての市民意識調査や市の施策・事業への評価・要望を把握するアンケート調査を行っています。

●意見を伝える

市政に関する意見や提案などを市長自らが電子メール等で受け付ける「市長への手紙」を実施しています。

市民グループと市長と一緒に昼食をとりながら、日ごろのまちづくり活動やまちづくりへの思いなどについて気軽に語らう意見交換の場として「北橋市長と気軽にランチタイム」も実施しています。

市民のこえ

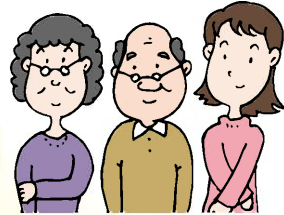
「市民のこえ」を市政に反映させるため、市民の皆さんからの要望、苦情、相談・問い合わせ、意見等を電話・来訪・文書等で随時受け付けています。



みんなで“まちづくり”を進めよう

- まちづくりの主役(第4条)
- コミュニティの活動に参加する(第26条)

市民



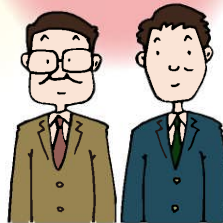
みんなが
自分の役割を果たし、
協力して、“まちづくり”を
進めます

議会



- 行政の仕事をチェックする(第10条)
- 市民の声を反映させる(第12条)

市長
職員



- 健全な財政運営(第17条)
- 情報を積極的に公開する(第21条)
- 市民参画を進める(第22条)
- コミュニティの活動を支援する(第27条)

◆ 北九州市自治基本条例

前文

誇りを持って、ここ北九州市で暮らし、生きていきたい。
このまちの良さを守り、慈しみ、子どもたちに伝えていきたい。
私たちのこの願いを実りある姿にするためには、市民、議会、行政がそれぞれの役割を認識し、互いに生かし合い、私たち自身の手で市民による自治を実践することが重要です。
私たちのまち北九州市は、ものづくりのまちとして、多くの人々の英知に支えられ発展してきました。また、市民、議会、行政が一体となって公害克服に取り組み、世界に誇る環境都市として今日に至っています。
私たちはこれからも、心豊かな、人が大切にされる地域社会を築いていきます。そして、近隣自治体と共生しながら、未来につなぐ私たちの思いを、アジアの諸都市をはじめ広く世界に発信していきます。
ここに本市の自治の礎となる北九州市自治基本条例を定め、自治の理念と原則を宣言します。

第1章 総則

●目的

第1条 この条例は、地方自治の本旨にのっとり市民の意思に基づく自立した市政運営を確立すること及び市民が安心して暮らすことができる地域社会を実現することの緊要性にかんがみ、北九州市における自治の基本理念及び基本原則を定め、自治を担う市民の権利及び責務並びに議会、議員及び市長等の役割及び責務を明らかにするとともに、市政運営の基本原則、市政への市民参画その他自治に関する基本的事項を定めることにより、市民の意思を適切に反映させた公正かつ誠実な市政運営の実現、市民の主体的な関与及び市民相互の連携による良好な地域社会の維持形成等を図り、もって本市における市民を主体にした自治(以下「市民自治」という。)の確立に寄与することを目的とする。

●条例の位置付け

第2条 市は、他の条例、規則その他の規程の制定改廃に当たっては、この条例の趣旨を尊重し、この条例で定める事項との整合性の確保を図るものとする。本市の基本構想その他計画を策定し、これらに基づく施策及び事業を実施し、又は法令等(法令、条例、規則その他の規程をいう。第8条において同じ。)を執行する場合も、同様とする。

●定義

第3条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 市民 市内に住所を有する者(以下「住民」という。)、市内の事業所若しくは事務所勤務者、市内の学校に在学する者、市内に不動産を所有する者又は市内で事業活動その他まちづくりに関する活動を行う者若しくは団体をいう。
- (2) 市長等 執行機関及び地方公営企業の管理者をいう。
- (3) コミュニティ 自治会等の地縁による団体、市民が共生する地域社会の実現に資すると認められる特定非営利活動法人その他これらに類する団体をいう。

●基本理念

第4条 本市の自治は、地方自治の本旨に基づき、自分たちのまちのことは、自分たちで考え、決定していくことを基本理念とする。

2 前項の基本理念に基づくまちづくりの推進は、人が大切にされるまち(すべての市民が年齢、性別、障害の有無、国籍、社会的身分又は門地等にかかわらず人として尊重されるまちをいう。以下同じ。)を実現することを旨として行われなければならない。

●自治の基本原則

第5条 本市における自治は、市民自治を基本として行われるものとする。

- 2 市政は、住民の信託に基づき行われるものとする。
- 3 市民及び市は、市政に関する情報を共有するものとする。
- 4 市民及び市は、自治を担う人材の育成に努めるものとする。
- 5 市は、市政運営において国及び福岡県と対等な関係に立ち、地方公共団体としての自主性及び自立性を確保するものとする。

第2章 市民

●市民の権利

第6条 市民は、人として等しく尊重され、幸福な生活を追求する権利を有する。

2 市民は、市が保有する情報を知る権利を有し、これにより得た情報を活用することができるとともに、自らの知識及び経験により得た情報を市に提供することができる。

●子どもの自治へのかかわり

第7条 子どもは、自治の主体として、それぞれの年齢に応じて自治を担うことができる。

2 子どもは、自治の主体であることを自覚しながら成長できる環境を与えられなければならない。

●市民の責務

第8条 市民は、自らが自治の主体であることを自覚し、人が大切にされるまちを実現するため、互いの人権を尊重するものとする。

2 市民は、自治の主体として発言をし、又は行動するに当たっては、その発言及び行動に責任を持つものとする。

3 市民は、法令等の定めるところにより、市政運営に伴う負担を分担する責務を有する。

◆ 北九州市自治基本条例

●事業者の責務

第9条 事業者(市内で事業活動を行うものをいう。)は、その社会的責任を認識し、市民が共生する地域社会の維持及び発展に寄与するよう努めるものとする。

第3章 議会

●議会の基本的役割

第10条 議会は、住民の代表機関として、市政上の重要な意思を決定する機関及び執行機関を監視する機関としての役割を果たすとともに、政策の立案に積極的に努めるものとする。

●議会運営

第11条 議会は、市政に関する市民の意思を的確に把握し、議会運営に適切に反映するものとする。

2 議会は、議会活動に関し市民に説明する責務を果たすため、開かれた議会運営を行うよう努める。

●議員の責務

第12条 議員は、住民の信託にこたえるために、市政に関する市民の意思を的確に把握し、市政全般に配慮しながら、公正かつ誠実に職務を遂行する責務を有する。

2 議員は、調査研究その他の活動を通じ、議会における審議及び政策の立案活動の充実に努める。

3 議員は、開かれた議会運営の実現に努める。

第4章 市長等

●市長等の役割及び責務

第13条 市長は、住民の信託にこたえるために、市を統轄し、これを代表する者として、この条例を遵守し、公正かつ誠実に市政を運営する。

2 市長は、市民自治を実現するために、市政に関する市民の意思を的確に把握し、市政運営に適切に反映させるよう努める。

3 市長等は、その権限及び責任を自覚して、公正かつ誠実に職務を執行する。

●職員の役割及び責務

第14条 職員は、市民の視点に立って公正かつ誠実に職務を遂行する。

2 職員は、職務の遂行に当たって、市民及びコミュニティが相互に連携する機会を積極的に提供するよう努めるものとする。

3 職員は、絶えず自らを研さんすることにより、その職務に関する能力の向上に努める。

第5章 市政運営

第1節 市政運営の基本原則

●計画的な行政運営

第15条 市長等は、本市の基本構想その他行政分野全般に係る政策及び事業に関する計画(以下この条において「基本構想等」という。)に基づき、総合的かつ計画的な行政運営を行う。

2 市長等は、各行政分野における基本的な計画を策定し、及び実施するに当たっては、基本構想等との整合性の確保を図るとともに、計画相互間の体系的な整備に努める。

3 市長等は、基本構想等及び各行政分野における基本的な計画を策定し、及び実施するに当たっては、計画の目標及び期間を明示するとともに、計画に係る進行の状況を適切に管理する。

4 市長等は、前項の計画を社会経済情勢の変化に対応したものとすよう、常に検討を加えるものとする。

●法務

第16条 市は、条例、規則その他の規程の制定改廃、法令の主體的な解釈及び運用並びに法令の制定改廃に関する提言を積極的に行うとともに、訴訟に的確に対応する。

2 市は、条例及び規則で規定する事項の整理に関する基本的な方針を定めるものとする。

●財政運営

第17条 市は、中長期的な展望に立って、財政の健全性の確保に努める。

2 市長は、予算、決算その他財政に関する事項について、市民に分かりやすく公表するものとする。

●行政評価

第18条 市長は、施策及び事業の成果及び達成度について評価を行い、その結果を市民に分かりやすく公表するものとする。

2 市長は、前項の評価の結果を施策及び事業に適切に反映させるものとする。

●付属機関の委員等の選任

第19条 市長等は、付属機関の委員その他これに類する構成員(以下この条において「委員等」という。)を選任するに当たっては、公募により選任された委員等が含まれるよう努めるとともに、委員等の年齢及び性別の構成について適正を確保するよう配慮する。

◆ 北九州市自治基本条例

2 市長等は、委員等の選任の手続を整備するとともに、選任における選考の経過を記録するものとする。

●苦情等へ対応するための仕組み

第20条 市は、市民の権利利益を保護するため、市民が市から受けた不利益な取扱いについての苦情、不服等の適切かつ簡易迅速な処理又は解消を図るための仕組みの整備その他必要な施策を講ずるものとする。

●情報共有の仕組み

第21条 市は、市が保有する文書、図画及び電磁的記録に係る情報の適正かつ効率的な管理及び運用について、総合的かつ体系的な規程の整備を図るものとする。

2 市は、市民の知る権利を尊重し、市政に関し市民に説明する責務を果たすため、別に条例で定めるところにより、市が保有する情報の公開を推進する。

3 市は、個人の権利利益を保護するため、別に条例で定めるところにより、市が保有する個人情報適正に取り扱う。

第2節 市政への市民参画

●市民参画の制度の整備

第22条 市は、市政に市民の意見を適切に反映させるため、市民参画の制度の体系的な整備を図るものとする。

●パブリックコメント手続

第23条 市長等は、市政上の基本的かつ重要な事項を定める計画又は条例を策定する過程において市民の意見を反映させるため、当該計画又は条例の案について市民の意見を公募する手続を実施する。

●市民の意見及び提案

第24条 市は、前条に規定する手続のほか、市民が市政について広く意見を提出し、及び提案するための多様な機会を確保するものとする。

2 市は、前項の機会に収集した市民の意見及び提案に係る情報を内部で適切に共有し、その活用を努めるものとする。

●住民投票

第25条 市は、市政に関し、特に重要な事項について、住民(法人を除く。)の意思を直接確認するため、事案ごとに別に条例で定めるところにより、住民投票を実施することができる。

2 市長は、住民投票を実施するに当たっては、投票の結果の取扱いについて、あらかじめ見解を述べるものとする。

第6章 コミュニティ

●コミュニティの活動のあり方

第26条 市民は、様々なコミュニティの活動に自由に参加することができる。

2 市民は、コミュニティの活動への参加を通じて、市民が共生する地域社会の維持及び形成に努めるものとする。

3 コミュニティは、その活動内容及び運営状況を明らかにすることにより、その活動について市民の理解及び共感を得られるよう努めるものとする。

4 コミュニティは、他のコミュニティの自主性を尊重しながら、コミュニティ相互間の連携の推進に努めるものとする。

●コミュニティへの支援等

第27条 市は、コミュニティの自律性及び自立性に配慮しながら、コミュニティの活動がその活動する地域の特性に応じて効果的に行われるよう、コミュニティに対し積極的に支援するものとする。

2 前項に規定する支援は、区役所の組織及び機能を最大限に活用することにより行うものとする。

3 区長は、コミュニティが相互に連携しながらその活動が円滑に行えるよう、コミュニティに対し必要な支援に努めるものとする。

第7章 国、他の地方公共団体等との関係

第28条 市は、国及び福岡県と対等な立場で共通の目的である市民福祉の増進に向かって相互に協力するとともに、国及び福岡県に対して政策又は制度に関する意見の提出及び提案を積極的に行うものとする。

2 市は、他の地方公共団体と共通する課題について、当該地方公共団体と相互に連携及び協力をし、その解決に努めるものとする。

3 市は、本市の国際社会における役割を果たすため、アジア地域その他の地域の外国の政府、外国の地方公共団体等との交流、連携及び協力を努めるものとする。

第8章 条例の見直し

第29条 市は、市政がこの条例の趣旨に沿って運営されているかどうかを評価し、この条例について必要な見直しを検討するための機関を設置する。

2 市は、この条例の施行の日から5年を超えない期間ごとに、前項の検討の結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

付則

この条例は、平成22年10月1日から施行する。

問い合わせ一覧

■まずは情報を共有しましょうー情報共有ー(P1)

- 市政だより、市のホームページ、市政テレビ・ラジオ等、市の広報について
広報室広報課(電話番号:582-2236)
- 出前講演について
市民文化スポーツ局広聴課(電話番号:582-2527)

■身近なコミュニティの活動に参加しましょうー市民主体のまちづくりー(P2)

- まち美化活動、地域の安全パトロール等の地域活動や市民センターについて
(各区役所コミュニティ支援課)
門司区(電話番号:331-1881・代表) 八幡東区(電話番号:671-0801・代表)
小倉北区(電話番号:582-3337) 八幡西区(電話番号:642-1441・代表)
小倉南区(電話番号:951-4111・代表) 戸畑区(電話番号:871-1501・代表)
若松区(電話番号:761-5321・代表)
※自治会や町内会へ加入する場合は、お住まいの地域の自治会・町内会や会長へお申し出ください。
その際、連絡先が分からない場合は、お住まいの区の区役所コミュニティ支援課(自治総連合会事務局)へお問い合わせください。
- ふれあいネットワーク活動について(各区社会福祉協議会)
門司区(電話番号:331-3688) 八幡東区(電話番号:681-6601)
小倉北区(電話番号:571-5452) 八幡西区(電話番号:642-5035)
小倉南区(電話番号:951-5388) 戸畑区(電話番号:871-3259)
若松区(電話番号:761-3422)
- その他(市民の自主的な活動を支援する施設)について
 - 市民活動サポートセンター(電話番号:645-3101)
NPO法人の設立認証やNPOの活動支援を行う施設です。
活動や協働に関する相談・助言、情報提供等を行っています。
 - 青少年ボランティアステーション(電話番号:871-0330)
青少年が行うボランティア体験活動を支援する施設です。
各種研修や体験活動の実施等を行っています。



問い合わせ一覧

- 生涯学習総合センター(電話番号:571-2735)、
八幡西生涯学習総合センター(電話番号:641-9360)
多様な学習機会の提供や地域活動などをリードする人材を育成する施設です。
生涯学習に関する各種講座の開催や学習相談・情報発信等を行っています。
 - ボランティア・市民活動センター
社会福祉協議会が運営するボランティア活動に関わる人を応援する施設です。
ボランティア活動に興味がある方の相談に応じています。
北九州市社会福祉協議会(電話番号:881-0110) 若松区社会福祉協議会(電話番号:761-2208)
門司区社会福祉協議会(電話番号:322-2966) 八幡東区社会福祉協議会(電話番号:662-0911)
小倉北区社会福祉協議会(電話番号:562-2051) 八幡西区社会福祉協議会(電話番号:642-0407)
小倉南区社会福祉協議会(電話番号:951-5220) 戸畑区社会福祉協議会(電話番号:881-8555)
- ### ■自分の意見を市政に届けましょうー市民参画ー(P3・4)
- パブリックコメント、市政モニター、市民意識調査、北橋市長と気軽にランチタイムについて
市民文化スポーツ局広聴課(電話番号:582-2527)
 - 市長への手紙について
市民文化スポーツ局広聴課(電話番号:582-2525)
※市長への手紙は、市のホームページから送信してください。
 - 市民のこえについて(市民文化スポーツ局広聴課・各区役所総務企画課広報広聴係)
市民文化スポーツ局広聴課(電話番号:582-2525)
門司区(電話番号:331-0039) 八幡東区(電話番号:661-0039)
小倉北区(電話番号:582-3339) 八幡西区(電話番号:642-0039)
小倉南区(電話番号:951-0039) 戸畑区(電話番号:881-0039)
若松区(電話番号:761-0039)
 - タウンミーティング・公開討論会(フォーラム)、公募委員について
実施に当たっては市のホームページや市政だより等でお知らせしています。市役所の各部署で実施していますので、担当部署へお問い合わせください。